

## 単元名 音のスケッチ(1)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 音の動き方やその組み合わせの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けることができる。
- (2) 音の動き方やその組み合わせを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることができる。
- (3) 音の動き方やその組み合わせの特徴を捉えたり、旋律を即興的に表現したりする活動に興味をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

04070105\_001

【教材名】音の動き方を生かしてせんりつをつくろう（音楽づくり）

(P. 22～P. 23)

【準備等】リコーダー、ワークシート、メトロノーム

| 学 習 活 動   | 留 意 事 項 など  |
|---|---|
| <p>1～2 音やフレーズをつなげて音楽をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5音の中から即興的に音を選択して、指定されたリズムでリコーダーを吹く。</li> </ul> <p>★音の動き方を生かしてせんりつをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輪になって一人ずつ即興的に表現する。</li> </ul> <p>○ さまざまな音型を試しながら、自分が表現したい旋律を4拍分つくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に音で試したり、友達を思いを伝え合ったりする</li> <li>・ワークシートにまとめる。</li> </ul> <p>○ 4人組になり、それぞれの音型をつなげて4小節の旋律をつくる。</p> <p>○ つくった音楽を互いに聴き合ったり、表現を振り返ったりする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな音型を見付けられるように働きかける。</li> <li>・旋律を表現するときは、音型に気を付けるようにするために、リズムは統一しておく。</li> <li>・さまざまな音型を実際に試させることが大切である。</li> </ul> <p>【共通事項】せんりつ フレーズ</p> <p>【評】設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現することを通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある旋律をつくるため、持ち寄った旋律をグループ内で修正していくような学びにする。</li> <li>・メトロノームをかけながら、拍の流れののって演奏させる。</li> <li>・早く完成したグループに「もっとあそぼう」のような発展的な活動を紹介する。</li> </ul> <p>【評】音の動き方やその組み合わせの特徴を捉えたり、旋律を即興的に表現したりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】音の動き方やその組み合わせの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせながら聴く活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>【評】音の動き方やその組み合わせを聴き取り聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> |

【 備 考 】